

カタログ訂正のお知らせ

発行日
2015年8月3日

No. 2015008D

マニュアル

当社発行のマニュアルにおいて下記のとおり印刷・記載の誤りがありました。
お詫び申し上げます。

■ マニュアル名

『NXシリーズ セーフティコントロールユニット ユーザーズマニュアル』 (2015年4月発行)
(マニュアル番号 SGFM-710F)

■ 掲載箇所

P4-2ページ 『4-1-2 セーフティリアクションタイムの計算方法』 のセーフティセンサ/スイッチ応答時間
P4-2ページ 『4-1-2 セーフティリアクションタイムの計算方法』 のセーフティI/Oリフレッシュ時間

■ 対応方法

刷り直しにて対応します。

■ 正誤内容

以下の値・式を変更するため、安全関連部に関するご確認をお願い致します。

- ・オムロン製専用セーフティ入力機器をセーフティ入力ユニットに接続する場合のセーフティセンサ/スイッチ応答時間
- ・セーフティI/Oリフレッシュ時間の計算式

セーフティセンサ/スイッチ応答時間に関する訂正

	時間要素	説明
誤	セーフティセンサ/スイッチ 応答時間	ライトカーテンなどのセーフティセンサやスイッチのON・OFF 応答時間。使用するセンサ/スイッチにより定義された値です。 ただし、オムロン製専用セーフティ入力機器をセーフティ入力ユニットに接続して使用する場合は以下となります。 シングルビームセーフティセンサ形E3ZS, 形E3FS : <u>10ms</u> 非接触式ドアスイッチ形D40A : <u>6ms + 0.4ms x 連結台数</u> 非接触式ドアスイッチ形D40Z : <u>18ms</u> セーフティマット形UM : <u>10ms</u> セーフティエッジ形SGE : <u>10ms</u>
	セーフティセンサ/スイッチ 応答時間	ライトカーテンなどのセーフティセンサやスイッチのON・OFF 応答時間。使用するセンサ/スイッチにより定義された値です。 ただし、オムロン製専用セーフティ入力機器をセーフティ入力ユニットに接続して使用する場合は以下となります。 シングルビームセーフティセンサ形E3ZS, 形E3FS : <u>14ms</u> 非接触式ドアスイッチ形D40A : <u>6ms + 0.4ms x 連結台数</u> 非接触式ドアスイッチ形D40Z : <u>29ms</u> セーフティマット形UM : <u>24ms</u> セーフティエッジ形SGE : <u>24ms</u>
正	セーフティセンサ/スイッチ 応答時間	ライトカーテンなどのセーフティセンサやスイッチのON・OFF 応答時間。使用するセンサ/スイッチにより定義された値です。 ただし、オムロン製専用セーフティ入力機器をセーフティ入力ユニットに接続して使用する場合は以下となります。 シングルビームセーフティセンサ形E3ZS, 形E3FS : <u>14ms</u> 非接触式ドアスイッチ形D40A : <u>6ms + 0.4ms x 連結台数</u> 非接触式ドアスイッチ形D40Z : <u>29ms</u> セーフティマット形UM : <u>24ms</u> セーフティエッジ形SGE : <u>24ms</u>
	セーフティセンサ/スイッチ 応答時間	ライトカーテンなどのセーフティセンサやスイッチのON・OFF 応答時間。使用するセンサ/スイッチにより定義された値です。 ただし、オムロン製専用セーフティ入力機器をセーフティ入力ユニットに接続して使用する場合は以下となります。 シングルビームセーフティセンサ形E3ZS, 形E3FS : <u>14ms</u> 非接触式ドアスイッチ形D40A : <u>6ms + 0.4ms x 連結台数</u> 非接触式ドアスイッチ形D40Z : <u>29ms</u> セーフティマット形UM : <u>24ms</u> セーフティエッジ形SGE : <u>24ms</u>

セーフティ/Oリフレッシュ時間に関する訂正

	時間要素	説明
誤	セーフティ/Oリフレッシュ時間	<p>以下の構成要素の総和で算出されます。セーフティ入力端子が変化してからセーフティCPUユニットを経由して、セーフティ出力端子を遮断するまでの時間です。</p> <p>計算式: 以下構成要素の総和です。 セーフティ/Oリフレッシュ時間 = 入力ディレー時間 + セーフティ入力リフレッシュ時間 + セーフティ出力リフレッシュ時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力ディレー時間とは、セーフティ入力ユニットのセーフティ入力端子に設定した入力OFFディレー時間のことです。 ・セーフティ入力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ入力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値のものです。 ・セーフティ出力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ出力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値のものです。
	セーフティ/Oリフレッシュ時間	<p>以下の構成要素の総和で算出されます。セーフティ入力端子が変化してからセーフティCPUユニットを経由して、セーフティ出力端子を遮断するまでの時間です。</p> <p>計算式: 以下構成要素の総和です。 セーフティ/Oリフレッシュ時間 = 入力ディレー時間 + セーフティ入力リフレッシュ時間 + セーフティ出力リフレッシュ時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力ディレー時間とは、セーフティ入力ユニットのセーフティ入力端子に設定した入力OFFディレー時間のことです。 ・セーフティ入力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ入力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値にセーフティ入力ユニット処理時間を加算した値です。 <u>セーフティ入力ユニットの処理時間は以下の値です。</u> NX-SIH400: 9ms NX-SID800: 5ms ・セーフティ出力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ出力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値にセーフティ出力ユニット処理時間を加算した値です。 <u>セーフティ出力ユニットの処理時間は以下の値です。</u> NX-SOH200: 1ms NX-SOD400: 1ms
正	セーフティ/Oリフレッシュ時間	<p>以下の構成要素の総和で算出されます。セーフティ入力端子が変化してからセーフティCPUユニットを経由して、セーフティ出力端子を遮断するまでの時間です。</p> <p>計算式: 以下構成要素の総和です。 セーフティ/Oリフレッシュ時間 = 入力ディレー時間 + セーフティ入力リフレッシュ時間 + セーフティ出力リフレッシュ時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力ディレー時間とは、セーフティ入力ユニットのセーフティ入力端子に設定した入力OFFディレー時間のことです。 ・セーフティ入力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ入力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値にセーフティ入力ユニット処理時間を加算した値です。 <u>セーフティ入力ユニットの処理時間は以下の値です。</u> NX-SIH400: 9ms NX-SID800: 5ms ・セーフティ出力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ出力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値にセーフティ出力ユニット処理時間を加算した値です。 <u>セーフティ出力ユニットの処理時間は以下の値です。</u> NX-SOH200: 1ms NX-SOD400: 1ms
	セーフティ/Oリフレッシュ時間	<p>以下の構成要素の総和で算出されます。セーフティ入力端子が変化してからセーフティCPUユニットを経由して、セーフティ出力端子を遮断するまでの時間です。</p> <p>計算式: 以下構成要素の総和です。 セーフティ/Oリフレッシュ時間 = 入力ディレー時間 + セーフティ入力リフレッシュ時間 + セーフティ出力リフレッシュ時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力ディレー時間とは、セーフティ入力ユニットのセーフティ入力端子に設定した入力OFFディレー時間のことです。 ・セーフティ入力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ入力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値にセーフティ入力ユニット処理時間を加算した値です。 <u>セーフティ入力ユニットの処理時間は以下の値です。</u> NX-SIH400: 9ms NX-SID800: 5ms ・セーフティ出力リフレッシュ時間とは、セーフティCPUユニットとセーフティ出力ユニット間のFSoE Watchdog Timerの値にセーフティ出力ユニット処理時間を加算した値です。 <u>セーフティ出力ユニットの処理時間は以下の値です。</u> NX-SOH200: 1ms NX-SOD400: 1ms

ご確認いただいた結果、ご不明点などございましたらご連絡ください。

■本件に関するお問い合わせ先

オムロン株式会社
 インダストリアルビジネスカンパニー
 お客様相談室 TEL:0120-919-066

本案内に記載の仕様は、発行時点のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
 本案内では主に仕様上の変更点を記載しています。ご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容につきましては、必ずカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等をお読みください。